

# 社会から必要とされる企業となるために

## CSR(企業の社会的責任)への取り組み

コニカミノルタは、経営理念である「新しい価値の創造」を通じて社会への責任を果たし、ステークホルダーの皆さまの共感と信頼を得ることで、社会から必要とされる企業グループを目指しています。

株主・投資家の皆さんと共に



コニカミノルタは、CSRの取り組みを経営そのものと考え、グループをあげて事業のあらゆる面で、環境への配慮をはじめ社会の持続的発展に向けた活動を推進しています。研究開発においても、「環境・エネルギー」、「健康・安全安心」を成長領域と定め、革新的な技術を開発し、社会の期待に応える製品・サービスを提供していくことが企業の社会的責任とされています。今回の採用に当たっては、このようなグループワイドの社会・環境への任と考えています。働きやすさや革新的な企業姿勢が評価されました。

※経済・環境・社会の3つの側面から企業の持続可能性を評価する世界的に権威のある社会的責任投資(SRI)指標の一つ「Dow Jones Sustainability Index」のアジア・太平洋版。

働きやすい職場づくりを目指して

## 「第10回テレワーク推進賞\*」の奨励賞を受賞

場所や時間の制約を受けない柔軟な働き方であるテレワークは、労働と生活を融合させ、ワーク・ライフ・バランスを改善させる働き方として普及しつつあります。コニカミノルタでは、2009年1月より「育児時期の在宅勤務制度」を試行し10月より本格導入しました。このたびの受賞に当たっては、「育児による時間的制約の多い社員を対象に週1~2日の在宅勤務を導入したこと、今後、効果検証を充分踏まえた制度・運用の見直しを予定しているなど、これから取り組みに期待ができる」点が評価されました。

\*「テレワーク推進賞」は社団法人日本テレワーク協会が主催するテレワーク(在宅勤務)の普及促進を目指した表彰制度です。

健やかに暮らせる社会のために



## 「ピンクリボン\* 女性のためのフルーツ展」を開催

東京・新宿のコニカミノルタプラザでは、ピンクリボン月間の10月に合わせて、啓発のための展示をここ4年にわたって開催していました。2009年は、新宿高野の全面的なご協力により、フルーツをテーマに、健康のことを考え、乳がんのことを知つていただくことを目的に行いました。

\*ピンクリボン(Pink Ribbon)とは、乳がんの撲滅、検診の早期受診を啓蒙・推進するために行われる世界規模のキャンペーン、もしくはそのシンボルです。

地球環境の未来のために

## 国連の「第15回気候変動枠組条約締約国会議」 (COP15\*)で使用する複合機の メインスポンサーに選定 2009年10月2日

京都議定書に定めのない2013年以降の地球温暖化対策を決めるため、約180カ国からおよそ1万5千人にのぼる政府代表者をはじめプレス、国際機関、NGOなどの関係者が参加予定です。コニカミノルタは、高画質プリントと省エネルギーを両立させた「bizhub」シリーズを30台以上提供しCOP15の運営に協力します。

\*COPは、国連気候変動枠組条約(UNFCCC)を受けて設置された会議で、気候に影響を及ぼす温暖化ガスの削減を目的に毎年開催され、今回は2009年12月7日から18日までコペンハーゲンで行われます。